

事前課題

内閣府は、2021年に「子供の生活状況調査」の結果を発表しました。

この調査報告書では、2019年の世帯全員のおおよその年間収入について、家族の人数を踏まえて「等価世帯収入」(*)の水準により分類しています。等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当するのは12.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは36.9%、「中央値以上」に該当するのは50.2%でした（図1を参照）。

収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、「食料が買えなかった経験」や「衣服が買えなかった経験」、「公共料金の未払い」が生じている割合が高い結果となりました。「食料が買えなかった経験」が「あった」とする割合は、全体では11.3%であったのに対し（図2を参照）、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では37.7%（次ページ図3を参照）、「ひとり親世帯」全体では30.3%、「母子世帯」のみでは32.1%でした（次ページ図4を参照）。

あなたは、この調査結果にあるような収入の低い世帯やひとり親世帯の状況が、その子どもにどのように影響するか、またどうすれば問題点を改善できると考えますか。あなたの考えを800字以内で述べてください。（61ページの「様式6」を使用のこと。）

注)

* 「等価世帯収入」 — 世帯の収入について世帯人数等を考慮して調整したもの。

図1 等価世帯収入別、世帯の年間収入

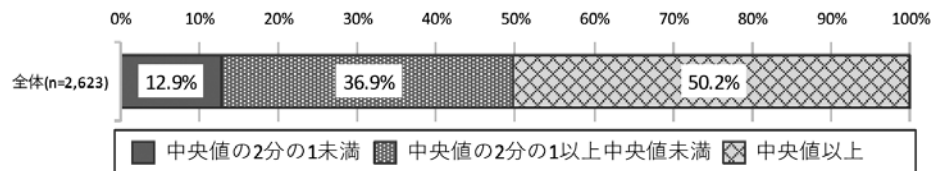


図2 食料が買えなかった経験

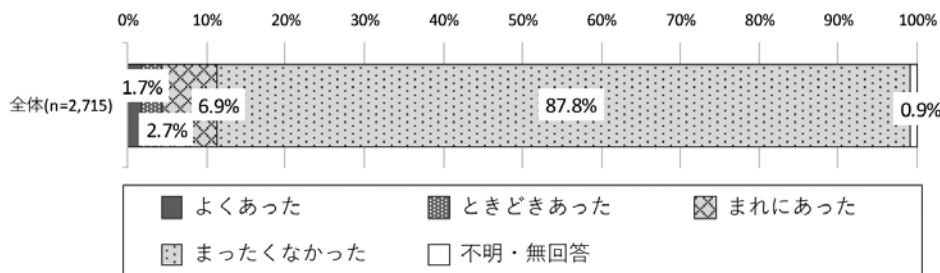


図3 等価世帯収入の水準別、食料が買えなかった経験

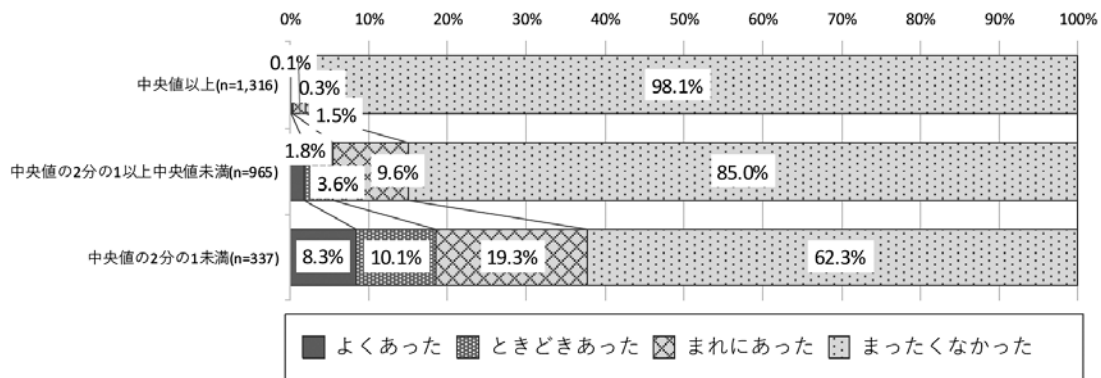
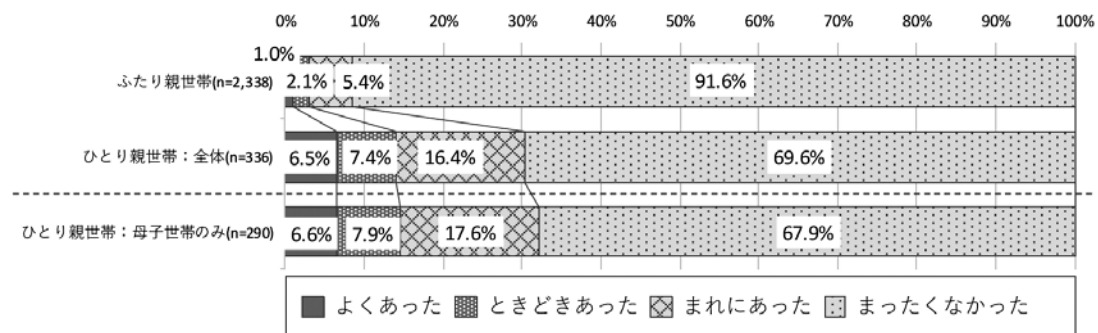


図4 世帯の状況別、食料が買えなかった経験



(出典：内閣府「令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書」2021年12月)

受験番号 *大学側記入欄

事前課題

氏名

記述用紙

5

10

15

20

5

10

15

20

440字

氏 名	
--------	--

	5	10	15	20
25				
30				
35				
40				